



全校進路だより

ステップアップ

京都府立八幡支援学校
進路指導部
令和7年2月13日発行

3学期がスタートしました。各学部、次の学部や学年、就労先へと学びを繋げていく大事な期間です。

小学部段階では、普段の学校生活の中で学校や地域、今後の就労先への繋がりや関わりを学ぶことの大切さを伝えていきます。今回は、防災について学んでいく中で、地域の方との繋がりを広げていったり、身近な働く人を知ったりする体験をたくさんしてきました。下記はその取組の紹介です。

防災学習



小学部では、後期の火曜日5時間目の生活単元学習『つながりたい』で防災について学習を進めてきました。

地震や火事になったときはどうしたら良いのかをクイズにしてみんなで考える時間を設けたり、実際に地震や火事に見立てた場所を防災頭巾をかぶって低い姿勢になって進んでみたりしました。



八幡市 危機管理課

八幡市の危機管理課の方に来校していただき、新聞紙で作るスリッパを作って履いてみたり、段ボールを組み立てて段ボールベッドを作って寝てみたり、空気を入れて膨らむビニールマットを膨らませて寝てみたり、たくさんの防災グッズを作ったりを経験することができました。危機管理課の方のお話をしっかり聞いて、一緒に防災グッズを作りました。



段ボールベッド組み立て



新聞紙でスリッパ作り ～大人サイズ・子供サイズ～

ビニールマット 毛布でごろん



八幡警察署

八幡警察署の方に来校していただき、交通安全教室をしてもらいました。横断歩道の渡り方や十字路等での車の確認の仕方について警察官の方に指導していただきました。真剣にお話を聞いて取り組んでいました。子供サイズの警察官の制服(白バイの制服も)を持ってきていただき、制服を着て警察官になりきっている子どもたちがたくさんいました。



八幡消防署

八幡消防署の方に来校していただき、消防体験をさせてもらいました。実際に着用している消防服を着させてもらったり、的に向かって消防士の方と一緒に水消火器を使って消火活動をしてみたり、消防隊員の方が消防車のハシゴを実際の掛け声とともに伸ばしてくれたり、消防車の中を見せていただいたりたくさんの経験・体験をさせていただきました。



今回は防災等に関わって、八幡市の危機管理課、警察署、消防署の方たちに来校していただいて、どんな仕事をしているのかやどんな物を使っているのか等を体験できる形で御紹介していただいたり、実際の使い方を教えていただいたりしました。

このように、小学部のうちから、たくさん地域の方と関わりをもてる取組を通して、様々な仕事に触れる経験や専門的なことを知る経験、「様々な人と一緒にできる！」学びの場を広げていくことで子どもたちの「生きる力」に繋がっていくのだと実感することができました。「人との繋がり・関わり」をたくさん経験できるように、今後も学校生活全体を通して取り組んでいきたいと思います。中学部・高等部でも防災学習に取り組んでいるので、小学部から中学部・高等部へステップアップしていきます。中学部・高等部の学習の様子は HP をご覧ください。